

ひよこ組

春の訪れとともに、子どもたちの成長を感じています。

まだ歩けなかった頃、つかまり立ちをして鏡をのぞいていた姿が懐かしく思い出されます。今ではしっかり歩き、陸橋まで散歩に行けるようになりました。

お気に入りの絵本のフレーズを覚え、保育者の手遊びを真似て「しーしー」とする姿がとても可愛らしいです。友だちの名前を呼んだり、靴下を渡してあげたりしながら、友だちと関わる楽しさを感じています。「自分で！」と意思表示することも増え、自分でやりたい気持ちを大切に見守っています。

この1年、たくさんの愛情に支えられ、大きくなった子どもたち。保護者の皆さまのご協力に、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

こあら組

こあら組で過ごす時間も残り1か月となりました。

2月は、目標としていた散歩リングを使って、陸橋まで散歩に行くことができました。「1、2、1、2」と掛け声をかけ、高く足を上げながら頑張って坂道を登る姿が印象的でした。

午後のおやつのエプロンを使わなくなったり、自分のマークの入れ物からオムツを取りに行ったりと着々と進級する準備を進めている子どもたち。4月には泣いて登園する姿もあったと思いますが、今では笑顔で友だちや保育者とのやりとりを楽しんでいます。そんな子どもたちの成長を間近で見守ることができ、嬉しく思います。

保護者の方々にもさまざまな面でご協力いただき、ありがとうございました。うさぎ組での成長を楽しみにしています。

うさぎ組

いよいよ今年度も残りわずかです。この一年間で、大きく成長した子どもたちの姿を頼もしく感じるとともに、近くで見守ることができたことを嬉しく思います。

気候が良い日には散歩に出かけ、園庭では氷に触れたり、マラソンをして体が温くなるのを感じたりと、寒い中でも元気に過ごしています。友だちとの関わりが大好きなうさぎ組。友だちの気持ちに気づき、慰めたり、ぶつかり合いを解決しようとする姿もあり、子どもたちの優しい心を感じることもできました。

また、体操や年中組との交流会を通して、新しい刺激を受け、「もうすぐ赤バッチさんになる」ことを楽しみにする気持ちも広がっています。今月も笑顔いっぱい、進級を心待ちにしながら、大切に過ごしたいと思います。

年少組

先月の豆まきでは、それぞれが鬼役と豆まきを交互に行いました。鬼を見てびっくりする子、勇敢に立ち向かって豆を投げの子、あっという間に豆を投げ終わってしまう子など色々でした。子どもたち一人ひとりが、自分の中にいる退治したい鬼を想像して豆まきをしたことでしょう。

いよいよ年少組最後の1か月です。贈呈式では、今までお世話になった年長組へ感謝の気持ち、お祝いの気持ちを持って参加し、年少組からも贈り物をします。そして、保育室の大掃除やロッカー掃除、お道具箱整理を通して、進級の準備をするとともに、年中組への期待を持ちます。

4月に比べ、友だちが増え、心も身体も大きく成長しました。保護者の皆さま、一年間ご理解ご協力ありがとうございました。これからの皆さんの成長や活躍を楽しみにしています。

年中組

先月の節分では、自分で作った鬼のお面と三宝を使って豆まきを行いました。鬼の登場にびっくりする子、勇敢に豆を投げの子、涙が出てしまう子、さまざまでした。自分の中の鬼を思い浮かべながら豆まきを楽しみました。

今年度も残すところあと1か月となりました。一年間で作った様々な作品を1冊の作品集にし、表紙を自分で作り持ち帰ります。みんなで、印象に残ったことや楽しかったことなど、一年の成長を振り返りながら作品を綴じます。楽しみにお待ちください。また、お世話になった年長さんに感謝の気持ちを込めてお花を折り紙で折り卒園祝いを作りました。

4月からは、いよいよみなさんが年長組ですね。期待と自覚を持ちながら、残りの年中組での生活も充実させていきましょう。素敵なお兄さん、お姉さんになってくださいね。

年長組

梅や桃の花も咲き始め、少しずつ春の訪れを感じます。

楽しかったいちご狩りや、卒園遠足を終えて、いよいよ3月になりました。締めくくりとして、一年間を振り返りながら作品を綴じるほか、思い出や将来の夢を書いた文集作りや、自分たちで文章を考え、絵も描いた絵本製作も行なっています。

卒園式の練習も始まりました。式典に参加する態度を知り、先生にお別れの挨拶をします。園長先生からは、みくに学園で大切にしている言葉や、考えをお話していただきます。また、贈呈式では年中、年少児に向けて記念品を贈ります。皆で協力して板に色を塗り、組み立てて作りました。

残り少ない園生活ですが、先生やお友だちと楽しく過ごし、たくさん思い出を作っていきます。

《進級・就学を迎える皆さんへ》

3月は別れの月、4月は始まりの月です。新しい経験は成長するための一歩。前向きな気持ちを持ちましょう。

そこで、新しい生活をスムーズに始めるために、生活習慣を見直してみませんか。以前、千葉県教育委員会でこのような取り組みをしていましたので、紹介します。

◎親子で取り組むあいうえお

「あ」いさつをする 挨拶は人間関係の基本です。関係作りのきっかけにもなります。気持ちの良い挨拶や返事をしましょう。

「い」つも〇〇する 早寝早起き朝ごはん、手洗いうがいなど、いつもすることを決めて、一つずつできるようにしましょう。

「う」んどうをする 体力の向上だけでなく、五感を刺激して脳の活性化に繋がります。

「え」ほんをよむ 読書は心の栄養です。お子さまと一緒に読んだり、読み聞かせたりして本の世界を楽しみましょう。

「お」いしくたべる 家族でおいしく食べましょう。作り手に感謝の気持ちをもったり、食育にもなります。

幼い頃の親子の関わりは、その後の人格形成の基本となります。ご家庭でぜひ取り組んでみてください。